

学年

教科等

単元等

活用アプリ

小5

算数

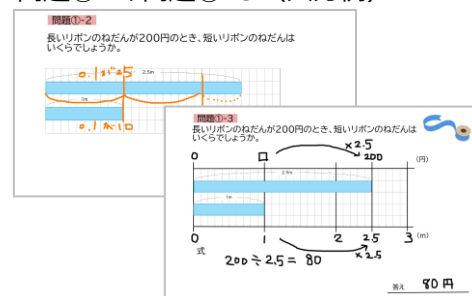
小数のわり算

オクリンクプラス

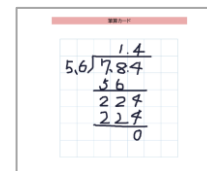
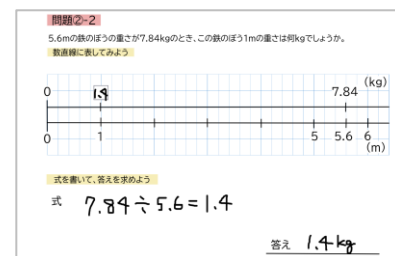
授業  
内容

整数÷小数、小数÷小数の計算の仕方を、数直線を用いて考える

問題①-2、問題①-3（入力例）



問題②-2（入力例）、筆算カード



共有コード

共有コードを入力、または  
カメラを起動して  
二次元コードを読み込む

pb01KN3WCEYR16RJ414J0JFWX9HP

準備：

- ・共有コードを使用してカード「問題①-1～3」、「問題②-1、2」、「筆算カード」を取得する。
- ・問題ごとに提出するため、提出BOXを1つ追加し、名称を提出BOX1、提出BOX2にする。
- ・準備したカードを子供たちのマイボードに送信する。

授業の流れ：

1. 各自、マイボードに送られた「問題①-1」のカードを見て、長いリボンのねだんが200円のと看、短いリボンのねだんはいくらか、テープを動かすなどして長さを比較しながら考える。何人かを指名し、どのように考えたのかをクラス全体に向けて発表してもらう。
2. 各自、「問題①-2」のテープ図を見て、長いリボン2.5mのねだんが200円のと看、短いリボン1mのねだんの求め方を考える。ペンで考え方を書きこみ、ペアで話し合う。
3. 各自、「問題①-3」の数直線に、1m、2m、2.5m、3mの数字と2.5mのと看のねだんを書き込み、1mのねだんを□で表し、2.5mのテープ図の上にねだんを求める式などを書き込む。式と答えを入力し、問題①-3のカードを提出BOX1に送信する。 ※筆算カードをお使いいただけます。
4. 「問題②」は応用問題として鉄の棒の重さを考える。「問題②-1」のテープ図にペンで書きこみながら、それぞれの鉄の棒の重さを考える。
5. 各自、「問題②-2」の数直線を使って、1mの鉄の棒の重さを□kgとして、5.6mの鉄の棒の重さが7.84kgのと看の□の求め方を考え、式と答えを書く。問題②-2のカードを提出BOX2に送信する。 ※筆算カードをお使いいただけます。

※授業時数2時間を想定

サポータ  
おすすめ  
ポイント

- ・テープ図を使い、具体的なイメージをつかんでから、数直線に表すことができます。
- ・それぞれを計算する際には「筆算カード」を使い、マス目に数字を書き込んでいくことで、小数点を正しい位置に書く練習をします。